

にいがた労福協

ライフサポートセンター

No.53 2023年4月15日発行

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2

Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891

E-mail ni-rfk@bz04.plala.or.jp

URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>

発行責任者 岡 英輔

2022年度ながおか ワーク&ライフセミナー

長岡地区労働者福祉協議会（連合中越地域協議会、労働金庫、こくみん共済coop、NPO等で構成）が「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉型社会の実現」をテーマに、2月23日ホテルニューオータニ長岡NCホールで開催した。

午前の講座は「社会的包摂、誰ひとり取り残さない地域社会に向けて」、午後の講座は「子どもの権利が守られる地域社会に向けて」をテーマに、いずれも映画上映と2団体の活動報告。午前は186名、午後は120名の市民組合関係者からの参加があった。

この事業は（公財）新潟県ろうきん福祉財団の公益支出事業を主たる財源に、（一社）新潟県労働者福祉協議会と共催。長岡市、長岡市教育委員会から後援を受け、例年2月に開催している。

講座1は、10時開会。矢島会長挨拶後、「梅切らぬバカ」（加賀まりこ、塚地武雅主演で約80分）を上映。この映画は、自閉症を抱える50歳の息子が社会の中で生きてゆく様子を温かく見守る包容力あ



ふれる母親が、地域コミュニティとの不和や偏見といった問題と、親子のきずなと深い愛を描いた内容。ジェンダー平等が叫ばれている今日、私たちが包容力を高め、共生することの大切さを訴えたものだった。

上映後は「障害児ママサポートかけはし〜長岡〜」の金内さんとNPO法人女のスペース・ながおかの田中さんから活動報告を受け、板倉副会長の閉会あいさつで12時に終了した。

講座2は、13時30分に開会。矢

島会長挨拶後、「ゆめパのじかん」（川崎市高津区の子どもの遊び場を3年にわたり撮影した約90分もの）を上映。今を生きるすべての子どもたちと、かつて子どもだった大人に贈る生きる力を育むじかんの大切さ、必要性を思い起こさせる内容。

川崎市が2000年に制定した『川崎市子どもの権利に関する条例』を基に市民参画でつくった子供の遊び場。子どもたちが好きな事をやり、その場所を提供し、子どもたちの『居場所』を公設民営で運営するところである。上映後、蔵王の森プレイパークの星野さん、森のようちえんふたばっこ&ねっこぼつこの古川さんから活動報告を受け、板倉会長の閉会あいさつで16時に終了した。



アンケートをみると、講座1では多くの参加者が「共生は重要だ」「多様性を重んじる社会実現を」等大変満足だったという声をいただいた。主演の加賀まりこさんが「いやでも『明日』はやってくる。この親子の日常は続く。どうか、見守ってください！」という言葉が、何時までも心に残っている。

講座2には子どもたちの参加も多く、大人たちの昔を今の子どもたちにどう伝えられるか？きみはきみのままでいい！など、子どもの安心な居場所は必要だという意見が多かった。

超少子高齢社会が目の前に迫っている。2025年には高齢化率は30%に達し、2040年には35%（3900万人以上）と推計され、高齢者世帯は増加し、子どもが減少。高齢者をはじめ家族のこれからを考えていくとき、子どもと一緒に楽しく暮らす当たり前の生活を楽しめるようにするため、今回の映画を参考に共生社会実現を目指していきたい。

今回は、一日のセミナーだったが、次年度以降も週間セミナーや隔日セミナーなど多様なスタイルでのセミナーを開催していく。（長岡地区福協・今井事務局長）

2022年第4回地区労福協 事務局長会議



3月30日(木) 地区労福協事務局長
会議を開催した。

会議には7地区の事務局長、県労福協、連合新潟、新潟ろうきん福祉財団、ワーカーズコープ北信越の役員15名が参加し、牧野理事長から地区労福協活動の重要性について挨拶があった。

会議の主要議題は、今後の地区労福協活動の充実強化に向け、より具体的な活動を進めることを目的として、どのようなスタンスで臨むのか、地区労福協の実態を踏まえつつも、今までより一歩前に進む活動を、各地区労福協

日本難病・疾病団体協議会(JPA)

国会請願署名活動報告(9,767筆集約)

県労福協は、すべての人間の尊厳が何よりも大切にされる社会の実現に向け、患者とその家族への支援として、2023年度の署名活動に協力することとした、昨年に続き2回目となった署名活動を昨年末から取り組み、2月28日現在、9,767筆を集約し(昨年、8,798筆)、3月29日にJPAに

郵送した。なお、カンパ金も3,000円集約し送金した。

改めて、各会員団体の皆さんに感謝申し上げ、要請事項が早期に解決できるよう、今後もJPAと連携して活動を展開する。

の会議で議論し進めていただくこととして、個別事業を例示し意見交換した。特に県ライフサポートセンターの事業については、全県的に相談者の掘り起しに向けた取り組みの意思統一を行った。

今後は、県労福協が取り組む各種活動を地区労福協においてアレンジして、地区労福協の活動の活性化に繋げることが、県労福協の取り組みの強化になることを、会議参加者全員で確認した。

新潟県労福協

「現代版 県労福協による高校生支援、米百俵運動」への御礼

1,147団体から、4億円を超える寄付額を結集

県労福協は、昨年1月以降、(公財)新潟ろうきん福祉財団が実施している高校奨学金事業拡充に向けた寄付活動を取り組んできた。本年1月31日現在で、1,147件、金額で400,438,467円を集約した。当初目標を大幅に上回り、改めて協力いただいた皆様に感謝申し上げる。

今後は、募集人員を上限100名として、「学びたい学生が学ぶことのできる社会の構築」に向け、ろうきん福祉財団と連携した取り組みを強化する。

2023年4月1日(土) - 12月30日(土)

ローン見直し大作戦

期間中に他金融機関ローンの借換えを用途として各種ローン(30万円以上)を新規契約いただいた方の中から抽選で合計300名様に当たる!

A賞

アイロボット
ロボット掃除機
ルンバ i3 12名

B賞

UCギフトカード
5,000円分 120名様

C賞

QUOカード
3,000円分 168名様

Go!

みんなも走り出そう!

【抽選・当選発表】●抽選は3回に分けて行います。1回目は4月～6月の契約者を対象に7月に、2回目は7月～9月の契約者を対象に10月に、3回目は10月～12月の契約者を対象に1月に行います。当選本数は、各期A賞は4名、B賞は40名、C賞は56名とさせていただきます。●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。●証書貸付につきましては、返済年数2年以上の契約が対象となります。●自己資金担保ローンは対象外とさせていただきます。●マイプラン等の当座貸越商品は、期間中に借換えを用途として新規契約し30万円以上の借入金実績がある契約が対象となります。●賞品の画像はイメージであり、実際のものとなる場合があります。●キャンペーンについて詳しくはろうきんへお問い合わせください。

新潟ろうきん

検索

新潟県労福協

2023年度事業計画承認

県労福協は、第141回理事会（3月15日）を開催し、2023年度事業計画を承認した。【第44回定時総会（6月21日開催）報告事項】

活動の基本は、勤労者が安心・安全に暮らせる生涯福祉社会の実現に向け、労働団体・労働者福祉事業団体等と連携し活動を推進する。そして、労福協の理念「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」を目指すとした。

また、県民の生活向上に向けた政策提言等の取り組みについて会員団体を中心に、行政や様々なNPO・市民活動団体との連携・協働を強化し、ポストコロナ社会に向けて労働者自主福祉運動を力強く推進する。

具体的には、県ライフサポートセンターの相談事業の拡充強化、地区労福協の活動強化として、ワーク&ライフセミナーの開催、奨学金制度の充実強化に向けた奨学金ネットワークの活性化などである。今年度は新たに、平和活動（統一行動日における一斉黙祷の取り組み）を提起した。

今こそ労福協の出番と捉え、「助けると言える社会」の構築に向けて各種事業を推進する。

中央労福協

第3回地方労福協会議

3月7日（火）第3回地方労福協会議が、ハイブリッド形式で開催され、全国47の地方労福協の役員が参加し、新潟県からは間専務が参加した。

報告事項では、①中央労福協活動報告、②各ブロック活動報告。

意見交換では、①2022年全国福祉強化キャンペーン活動総括、②ライフサポートセンターの運営・活動に関する調査について、③新たな運動の展開と組織運営について、提案を受け、安心して働き暮らせる社会をめざして各種取り組みを進めることを、全国の労福協で意思統一した。

会議後の学習会では、「地域コミュニティの一翼を担う労働者自主福祉運



動の人材育成等に関する調査研究」と題して、中村圭介氏（法政大学大学院

連帯社会インスティテュート教授）から、連帯社会の構想をイメージしたとき、①自助、②公助、③共助、④他助（他人が助ける）この4つの「助」を組み合わせて、社会連帯を可能とする社会の構築に、とりわけ④について労

動の人材育成等に関する調査研究」と題して、中村圭介氏（法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授）から、連帯社会の構想をイメージしたとき、①自助、②公助、③共助、④他助（他人が助ける）この4つの「助」を組み合わせて、社会連帯を可能とする社会の構築に、とりわけ④について労

東部ブロック

第238回幹事会報告

3月14日（火）、東部ブロック労福協第238回幹事会が千葉県「オークラ千葉ホテル」において、21名の参加で開催された。

東部ブロック吉成会長、千葉県労福協鈴木会長の挨拶の後、中央労福協・南部事務局長から当面の取り組みについて（新たな運動の展開と組織運営、奨学金等）の説明がされた。

協議事項では、①2023年度の日程、②第14期福祉リーダー塾について、③諸会議の内容について協議し、福祉リーダー塾については、3年振りに6月15日（木）～16日（金）（1泊2日）に開催することを確認した。

各県報告においては、新型ウィルス感染症の状況下であっても、創意工夫して労福協活動の推進に向け活動が行

福協の取り組みが重要であるとの分析が報告された。併せて、他助活動を通しての人材育成に結び付ける取り組みが重要であるとの認識が示された。

なお、質疑の時間で、間専務から県労福協が取り組んだ、新潟ろうきん福祉財団への高校奨学金事業拡充に係る寄付の取り組みについての報告があった。

われている実践報告があった。

新潟県労福協からは、高校奨学金拡充に係るこの間の寄付の取り組み経過について報告した。



国際交流

2023年在日本大韓民国
新潟県地方本部「新年の集い」

3月5日（日）、在日本大韓国民

団新潟県地方本部主催の新年の集いが新潟東映ホテルにおいて、国会議員、各級議員をはじめ多くの来賓などを迎え、100名が参加され盛大に開催された。

開会あいさつで鄭和仁団長が、「WBCの開幕を迎えるとして、韓国と日本を応援し、どちらかの国が優勝することを願っている。日韓関係が改善の動きがあり、歓迎したい」との挨拶が

あった。

続いて、権相熙韓国総領事から「お互い対話を通じて未来に向かっていくことが、両国関係の改善に繋がる」との挨拶があった。

来賓挨拶では、新潟県日韓親善協会片桐会長から「隣の国とは、仲良くすることが基本、戦争は絶対ダメ、今の日本は、戦後ではなく新たな戦前である」との、平和と友好の大切さの重要性を訴える挨拶がありました。国会議員の「西村ちなみ衆議院議員」「菊田真紀子衆議院議員」「梅谷守衆議院議員」「打越さく良参議院議員」から、それぞれ新春の集いのお祝いと日韓関係の改善に向けた思いを披露した挨拶を受けた。

余興では、国際音楽・ダンス・エンタテインメントによるステージがあった。新型コロナウイルス感染対策を講じての開催となったが、参加者は、テーブル毎の交流を行い有意義な新年の集いとなった。

【鄭団長挨拶】



募集枠：上限100名に拡大！

高校奨学金給付事業：奨学生募集

2023年度高校新1年生（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部進学者含む）に対し返還義務のない奨学金を給付（月額1万円、3年間計36万円）します。

応募期間	2023年4月10日（月）～2023年5月10日（水）
応募資格	- 新潟県民の子どもにして、新潟県内の高等学校に「2023年度」進学された方。 ※ 中等教育学校後期課程進学者（新4年生） ※ 特別支援学校高等部進学者（新1年生） - 経済的な事情で就学困難な方 - 家族収入が300万円以内の方



※詳細は「新潟ろうきん福祉財団」ホームページにてご確認ください。

URL <https://www.zaidan-hukushi.or.jp>

（公財）新潟ろうきん福祉財団

〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2 勤労福祉会館4階
TEL/025-288-5273 FAX/025-288-5274

総合医療共済

終身生命共済・個人長期生命共済

終身 引受基準緩和型プラン

こくみん共済 coop NEWS

持病があっても、 通院・服薬中であっても、 あきらめないで加入できる。

こくみん共済 coop
公式キャラクター
ビットくん

3つの告知項目すべてが「いいえ」ならご加入いただけます。

※ご職業やすでにご契約されている保障などによってはご加入いただけない場合もあります。

1

現在、入院中ですか。
あるいは医師より入院または手術をすすめられていますか（今後、予定がある場合を含みます）。

2

過去2年以内に、病気やけがで「手術」または「連続して7日以上入院（正常分娩による入院を除きます）」をしたことがありますか。

3

過去5年以内に、がん^{※1}または肝硬変の診断^{※2}・治療・投薬・入院・手術を受けたことはありますか。

※1 がんとは、白血病・骨髄腫・悪性リンパ腫・肉腫・骨肉腫などを含むすべての悪性新生物をいいます。

※2 がんまたは肝硬変の疑いがあると医師に指摘された場合を含みます。

必ず
ご確認ください

- このプランは健康状態に不安を抱えている方などを対象としたプランのため、当会の他のプランに比べて掛金が割増しされています。
- 健康状態によっては、掛金を割増ししていない他のプランにご加入いただける場合があります。
- 保障を開始した日からその日を含めて1年以内に支払事由に該当した場合は、支払われる共済金が半額（50%削減）となります。

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済 新潟推進本部

（新潟県総合生活協同組合）

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop



ご入会

新潟ろうきんの県内26店舗で入会手続きができます。
加入申込書は新潟ろうきんの全店舗に備え付けてあります。※入会金や会費は必要ありません

ご加入
いただける方

新潟ろうきんとお取引がある、あるいはお取引を予定されている方で、以下のいずれかの加入条件を満たす15歳以上の方となります。

- 1 新潟県内に居住または勤務する勤労者の方など
- 2 将来、新潟県内に居住または勤務する予定のある方

おもな活動と
会員サービス

- 会報誌「夢咲Club通信」の発行
- 暮らしに役立つイベントなどの開催
- 安心の無料相談ネットワーク（弁護士無料法律相談、健康ダイヤルなど）

ご加入は最寄りのろうきん本支店窓口へ。お問い合わせは新潟ろうきん夢咲Clubまで。

新潟ろうきん夢咲Club

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38 新潟県労働金庫本店5階
TEL 025-201-8765 FAX 025-201-8755
<https://www.n-yume.jp>

新潟ろうきん夢咲Club 検索

地区労福協からの たより



佐渡地区

一昨年冬の、さどワーク&ライフセミナーで「地球環境の現状」を学び、私たちができる行動として周囲を海に囲まれている佐渡ヶ島に流れ着いてくる「マイクロプラスチック」をはじめとする海洋ごみの削減をしようと、昨年6月から11月まで4回の海岸清掃活動を行った。

1回目6月18日は、22人が「島外の人たちにきれいな島を見て欲しい」「海洋生物の生態系を崩さない環境を」と家族連れの方も参加した。

ゴミには割れたビンの破片や時節柄か「海外の注射器や針」も見つかり、もし人が触れたり、刺さったりしたら大変で、また、プラスチック系のこ



みが本当に多く、破損や劣化により、本当に小さな破片となって海岸や海に浮かんでおり、海洋生物への影響が本当に心配である。その日は約2時間行い、市の指定ゴミ袋で30袋を集め、すっかりきれいになった海岸をバックに撮影して帰った。

その後、7月は22人で18袋、10月27人で35袋、11月は14人で22袋、を集めてきれいにしたが、海が荒れば「ごみ」は流れて来る。佐渡には海外からたくさんのごみも流れてきて、日本のごみがハワイやアメリカ西海岸に流れて社会問題になっているとも言われている。この活動を通じて、日頃の生活のなかで各自が「ごみ」は指定された場所に捨てる。そしてできるだけ「ごみ」を出さない呼びかけや活動も必要と感じた。

私たちが活動した海岸は佐渡の南端の画(1km余り)でしかなく、佐渡周囲262kmでみるとわずかな範囲にすぎない。今後は同じ環境活動取り組んでいる他団体やグループと連携して「きれいな島」を維持

新潟地区

【新春の集い】

1月26日(木) 新潟東映ホテルにて「2023年 新潟地区労福協新春の集い」を開催した。本会は、2020年1月に行われて以来、実に3年ぶりの開催となった。

新潟県労福協・牧野理事長(連合新潟会長)、新潟市朝妻副市長をはじめ多数のご来賓の皆さまからご臨席をいただき、構成組織からは100名を超える大勢の方々が参加された。開会に先立ちアトラクションとして、にいがた総おどりによる「下駄総踊り」永島流新潟樽砦伝承会による「樽きぬた」が披露され、

パーティーでは、感染防止対策を徹底しながら、終始和やかな雰囲気で行われ、楽しく有意義な会となった。



【ワーク&ライフセミナー】

2月24日(金) ANAクラウンプラザホテルにて、奨学金をテーマと

するために活動を継続していきたい。(佐渡地区労福協・近藤事務局長)

した「ワーク&ライフセミナー」を開催した。講師の

中村健氏(新潟大学准教授)から、

「子供の貧困と奨学金問題」と題して、

貧困(低所得と生活困窮)について、生活保護の動向、子供の貧困と高等教育、更には奨学金制度の現状と課題等についての講義を受けた。

また、第二部として、新潟県奨学金ネットワーク代表の江花史郎氏から、「奨学金問題の現状と新潟県奨学金ネットワークの取り組み」について報告を受けた。

総勢52名の参加のもと質疑応答も活発に行われ、実りのある研修会となった。

(新潟地区労福協・大岩事務局長)

県央地区

1月12日(木)「2023新春賀詞交歓会」を3年振りに、感染防止を施し、100名ほどと例年より参加人数を減らし開催した。

各自治体や連携するNPO団体、関係議員などからの参加もあり、久しぶりの交流懇親で有意義なもの



なった。

3月23日

(木)「県央

ワーク&ライフ
フセミナー」

を、ファイナ

ンシャルプラ

ンナーの酒井

和美氏を講師

に「定年後の

働き方を考える

(年金&働き方)」

と題して開催し、一般市民10名を含

め40名ほどの参加があった。参加者

からは「年金と働き方について、わ

かり易い説明で良かった」「時間が

限られており、

また次回も開催

を」などの声が

寄せられた。

「県央地区労

福協」は、三条

市勤労青少年

ホーム(ソレイ

ユ三条)内に事

務所を置き活動

している。これ

からも労福協の構成

団体はもちろん、各自自治体や社会福

祉協議会、NPO団体、子ども食堂

など地域と連携し、会員交流、地域

貢献に努めていきたい。

(県央地区労福協・佐藤事務局長)



柏崎地区

柏崎地区労福協は、2023年2月10日、ザ・シャンカラで賀詞交歓会を3年ぶりに開催した。

労福協会員も、個々で会うことがあっても、組織的に集まるのが控えられていることから生ずる、閉塞感を乗り越えるきっかけにしたいとの思いで開催した。

今回は「密」を避けるために、来賓は柏崎市と県労福協の2組に絞り、参加者も例年の半数ほどの50名とした。

過去に行われてきた抽選会等も行わず、昨年柏崎で開催された「ワーク&ライフフォーラムin柏崎」の報告集を、資料として作成した、スライドの上映でフォーラムを振り返った。

隣席同士や、各テーブルに限る着座の懇談であったが、久しぶりに飲食・交流ができたとの感想もいた。

最後は労福協活動を前進させる決意を込めた一本絞めで終了した。



上越地区

(柏崎労福協・渡邊事務局長)

1月6日(金) ホテルハイマートにおいて、上越地区労福協主催の「2023年新春交歓会」をご来賓14名を含め、103名の参加を頂き、賑々しくも盛況に開催した。

第一部では、羽深会長の年頭挨拶に続き、ご来賓より、牧野理事長、

梅谷衆議院

議員、中川

上越市長、

城戸妙高市

長、本山上

越商工会議

所副会頭よ

り新春のご

挨拶を頂い

た。



第二部では、鏡開きの後、横山副会長の乾杯にて懇親会が始まり、労働組合・労働金庫・こくみん共済coop・退職者連合はもとより、各級議員や行政関係者、地元NPO団体の皆様との交流を深めながら、寺尾幹事の締めで、新春の集いを終えた。

(上越地区労福協・岩渕事務局長)

糸魚川地区

2月10日(金)「2023ワーク

&ライフセ
ミナー」が
糸魚川市ヒ
スイ王国館
で開催され
た。

糸魚川地
区では毎年
「ライフプ
ランセミ



ナー」として、社会保険や公的年金制度について学習してきたが、今回はテーマの見直しを行い、新潟県立大学人間生活学部こども学科教授小池由佳氏による「こども食堂がある地域く子育ての社会化」の講演を受け、「こども食堂」と「地域子育て支援」について理解を深めることができた。

その後、糸魚川地域の子ども食堂3団体の代表者が活動報告を行い、代表者からは活動内容だけでなく、こども食堂の開設に至った経緯や活動における苦労話や喜びなどを熱く語っていた。

新型ウィルス感染禍ではあったが、例年に比べ参加も増え、44名の参加となった。

今回のセミナーを通し、糸魚川地域において、こども食堂への理解度や認知度が高まったと感じた。

(糸魚川地区労福協・丸山事務局長)

調査・研究事業報告

連載／第1回

近未来の労働環境の変容とその課題

―「新しい資本主義」の

描く働き方とは―

公益社団法人新潟県自治研究センター

【2022年度報告書 発刊】

2022年度の受託研究として、新潟県自治研究センターがまとめた報告書「『近未来の労働環境の変容と働き方改革政策の課題』に関する調査・研究―人口減少・高齢化・コロナ禍・DX化に進む社会での働き方を考える―」（2023年3月発刊）について、今年度も貴重な紙面を頂戴し、概要紹介をさせていただけることに心から感謝申し上げます。

今次研究調査においては、ITやAIの活用と促進、DX（デジタルトランスフォーメーション）などをはじめとする社会・経済的な変化や関連する諸施策が、労働者の働き方や暮らしにどのような影響を及ぼすのかに着目し、まとめたものである。昨年12月には地域活性化に向けた5ヵ年計画「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が閣議決定され、今年度からはデジタル技術を活用した生活利便性の向上を図る施策を推進することとなっている。いわ

ゆる「ポストコロナ」社会を展望したとき、これにどのような対応をしていくべきかという、まさに現在進行形の課題に対して、さまざまな視点から論じたものとなっている。

今次報告書は、総括論文2本、テーマ別論文4本から構成されている。

総括論文については、新潟県立大学准教授の関谷浩史氏と、元内閣官房専門調査員の横田昌三氏から寄稿いただき、テーマ別論文は自治研究センターの各研究メンバーが執筆を担当した。今回は、そのうち、横田氏の論考について概要を紹介したい。

【「新しい資本主義」がめざす雇用とは】

岸田内閣が誕生した2021年10月からすでに1年半以上が経過した。発足当初から掲げる「新しい資本主義」とは、果たして、それ以前の安倍・菅政権時の経済政策と異なるものなのか、それとも同じものなのか。今次研究テーマの「労働環境の変容」を考える際

に、本質にかかわる重要問題であろう。

その点について横田氏は、岸田首相が当初強調していた「新しい資本主義」の底流には、「ステークホルダー資本主義」の考えに近いものがあつたことを確認しつつ、それがこの1年で二転三転したこの問題を指摘する。

「新自由主義からの脱却」どころか、2022年6月の「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」では、ついにアベノミクス「新三本の矢」のスローガンそのものである「成長と分配の好循環」が強調されるに至ったのである。

また、安倍政権の政策の柱でもあつた「地方創生」が、岸田内閣においては「新しい資本主義の実現の柱」となる「デジタル田園都市国家構想」に置き換わり、「資産所得倍増プラン」では大胆な投資の促進が強調されるなど、アベノミクスを継承・加速させる路線である点が示されていく。さらに、成長と分配の好循環を生み出すには「女性の経済的自立が新しい資本主義の核心」であるとする、「もはや何でもありの様相」となっている迷走ぶりについても指摘されている。

それでは、「新しい資本主義」路線をアベノミクスの継承・加速化と捉えたとき、「働き方の変容」についてはどのような問題が考えられるのだろうか。横田氏は、労働法制を「岩盤規制」と位置づけたアベノミクスの雇用・労

働政策について検証しながら、たとえばウィルス禍の下で進んだテレワークの「定着・加速」や「ジョブ型正社員」などの、経済界が求める「改革」について、「例外状態の常態化」になっているのではないかと述べている。たしかに、いつでもどこでも働ける状態とは「生活時間の労働時間化」であり、実質的な長時間労働を助長しかねない。「人への投資」や「リスキリング」についても、光と影の両側面を捉えておく構えが求められる。「解雇されたくなければ、給料を上げたければ、学び直せと追い込まれる」という労働環境の「変容」であつてはならないだろう。

最後に横田氏は、「経済を支える主体」「人的資本」としてのみ働き手を捉えるのではなく、人間として人権を保障する観点から、「世界で一番労働者が安心して働ける社会」をどのようにつくるのか、働く者の側からの対応が必要であるとして、特に労働組合の役割に期待を寄せている。

横田氏の論考を含め、報告書の全文は、新潟県労福協ホームページ上において掲載いただいている。今後の学習や議論の一助としてご活用いただければ幸甚である。

（文責・新潟県自治研究センター

齋藤 喜和）

第13回 連合・ILEC
幸せさがし文化展
 絵画 写真 書道 俳句 川柳

アートを、心に。

連合・ILECは、文化芸術の振興を通して、心豊かな生活の実現をめざしています。
 「連合・ILEC幸せさがし文化展」は、日常に文化芸術の薫りを感じ、日々の生活に心豊かな時間を取り入れるきっかけの場として、2年に1度、絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門で作品を募集し、入賞作品を展示しています。自由に発信すること・共感し合うことのすばらしさをあなたも感じてみませんか。

応募期間

★俳句部門・川柳部門・写真（データ応募）部門 2023年 2月1日（水）～5月29日（月） （当日消印・受付印有効）	★絵画部門・書道部門・写真（プリント応募）部門 2023年 4月1日（土）～5月29日（月） （当日消印・受付印有効）
--	---

詳細はWEBサイトへ
 幸せさがし文化展 検索

連合 ILEC 教育文化協会



co-op コープデリにいがた

**「あなたらしさ」が選べる生協、
 コープデリです。**

コープデリは、関東・信越1都7県で335万以上の世帯にご登録いただいている、日本最大の生協です。
 たくさんの宅配サービスや生協があるなかで支持されている理由はきっと、それぞれの“ぴったり”が見つかるから。
 原料へのこだわり、価格帯、家族の人数、etc… どんなニーズもおまかせください。

**コープデリなら、つかうほどじぶんらしくなれるあれこれが
 選べる、見つかる。**

コープデリが大切にしている6つのこと

 豊かで楽しい 食卓へ。 ふだんのくらしに必要な 商品を提供し、 毎日のくらしに貢献します。	 安心して 家族へ。 提供する全ての食品の 安全性の確保に 取り組みます。	 声を かたちに。 組合員さんの声を 大切にしたコープ商品を 開発・提供します。	 つながり、 育む。 生産者と組合員さんを つなぐ「産直」に 取り組みます。	 「食べる」を 伝える。 食育「たべる、たいせつ」を 通じて食による健康な暮らしを 提案していきます。	 未来に つなげる。 環境にやさしい 事業とくらしを目指します。
--	---	--	--	---	---

ご加入手続きは
簡単！

今すぐ！ Webでお申し込み

コープデリ 加入 検索



こちらからも
アクセスできます

今後の日程

4月	11日 (火)	中央労福協第30回学習会 (web)
	20日 (木)	新潟市PS第1回支援調整会議 (勤労福祉会館)
		消費生活ネットワーク新潟理事会 (web)
	21日 (金)	中央労福協奨学金問題対策委員会 (web)
		にいがた協同ネット上越企画準備会 (上越市)
	24日 (月)	にいがた協同ネット運営委員会 (勤労福祉会館)
5月	25日 (火)	新潟県日韓親善協会理事会 (新潟東映ホテル)
	29日 (土)	第94回新潟県中央メーデー (新潟市中央区)
	9日 (火)	中央労福協第31回学習会 (web)
	10日 (水)	中央労福協第4回生活・就労支援連絡会議 (web)
	12日 (金)	新潟県日口親善協会幹事会 (新潟東映ホテル)
	17日 (水)	新潟県労福協第36回チャリティーゴルフ大会 (フォレストカントリー倶楽部)
	22日 (月)	新潟県日韓親善協会総会 (新潟東映ホテル)
	25日 (木)	新潟市PS第2回支援調整会議 (勤労福祉会館)
	26日 (金)	県労福協第142回理事会 (勤労福祉会館)
6月	31日 (水)	新潟市勤労者福祉サービスセンター理事会 (イタリア軒)
	9日 (金) ~ 10日 (土)	中央労福協全国研究集会 (愛媛県松山市)
	14日 (水)	新潟県日口親善協会総会 (新潟東映ホテル)
	15日 (木) ~ 16日 (金)	東部ブロック第14期福祉リーダー塾 (静岡県三島市)
	16日 (金)	新潟市勤労者福祉サービスセンター評議員会 (イタリア軒)
	17日 (土)	消費生活ネットワーク新潟第6回総会 (勤労福祉会館)
	21日 (水)	新潟県労福協第44回定時総会 (新潟東映ホテル)
	22日 (木)	新潟市PS第3回支援調整会議 (勤労福祉会館)
	26日 (月)	新潟県労働金庫第70回通常総会 (ANAクラウンプラザホテル新潟)
	29日 (木)	新潟総合生協第8回理事会 (COOP会館)
7月	7日 (金) ~ 8日 (土)	新潟県労福協第10期福祉リーダー塾 (万代シルバーホテル)

編集後記

❖ WBC世界一の感動の余韻がいまだに日本国中に続いている。やはり、勝負事は勝たなければならない。昔、マラソンで2位になったN選手は、「2位も最下位も同じ」と発言したことを、つい昨日のこのように思い出した。桁違いの米国野球選手の年俸を聞いていると、頭がくらくらするのは私だけだろうか。❖ 日本の財政赤字は、1975年まで0円に等しかったが、2022年は1千兆円を超え、国民一

人当たり1千万円以上の借金になっている。❖ 政府も野党(一部)も日本人の預貯金がそれを超えているから心配な位と言う、世界の中で借金して将来も安心と考えるバカな政治家や国民は、日本だけである。❖ 政府は、外国からの借金はないから大丈夫というが、この借金はだれがいつ払うのか、高金利になつて利息をどうするのか、利息だけで一年間の国家予算(114兆円)を超えるのではと、心配するのは異常な考え方だろうか。❖ 「サラヤ株式会社」をご存じだろうか、過日の消費生活セ

ンターで学習会があり、「世界で一番小さな象が教えてくれたこと」について、サラヤの中西職員から取り組み報告があつた。❖ ボルネオにおけるプランテーションのアブラヤシ栽培のため、ボルネオの熱帯雨林が失われ、ボルネオ象が危機に瀕している実態が、テレビで放映されたことを契機として、サラヤが生物多様性保全をはじめとした、創業者がめざす、細々でも世の中の「流れ」をよくする「清流の経営」の取り組みである。❖ エシカル商品とSDGsの関係が重視されている。しかし、

今の日本では、明日の食料を確保することが困難な方が多くいる。現実は大変厳しい。❖ ロシアの侵略によるウクライナとの戦争は、終結のめどが全く立っていない。悲しい現実がある。❖ 声を大にして「戦争は悪」である。

(新光町のカンペイ)



県労福協人事異動

○退職 (3月31日付)

春川 博氏

勤務場所…新潟市勤労者福祉サービスセンター(事務局次長)

○退任 (3月31日付)

金内 孝永氏

勤務場所…新潟県ライフサポートセンター(主任)

○採用 (4月1日付)

皆川 正裕氏

勤務場所…新潟市勤労者福祉サービスセンター(事務局次長)

※この間の業務の取り組みに感謝申し上げます。